

2016年8月17日(水) ハコラク9月号 掲載

医療の現場から『患者さんと共に考え、歩む存在として—医療ソーシャルワーカーとは』

総合医療支援センター 医療福祉相談課 小口 修 主任

医療の現場から

患者さんと共に考え、 歩む存在として —医療ソーシャルワーカーとは

函館中央病院

総合医療支援センター 医療福祉相談課

医療ソーシャルワーカー **小口 修** さん



皆さんは、病院の中に「医療ソーシャルワーカー」という職種が存在することを存じでしょうか？医療ソーシャルワーカーは病院の中で、主に暮らし向きに関わる相談窓口として「医療相談室」や「地域連携室」といった部署に在籍し、日々患者さんやご家族のさまざまな困りごとや悩み、心配ごとなどに対応しています。

たとえば、病気をきっかけとして「医療費が支払えるか心配…」「急な入院と言われたけど、この先どうしたらいいだろう…」「がんと告知された。これからどうなるんだろう…」など、さまざまな生活上の困難が生じることがあります。医療ソシ

ルワーカーは社会福祉学を基盤とした相談援助の専門職として、患者さんやご家族の訴えに耳を傾けます。が、医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族に代わって問題を解決したり「こうすればいいですよ」と「正解」を出してしまうようなことはありません。そうではなく、患者さんが自らの考え、思い、願いを大切にしながら、ご自身で解決できるようにお手伝いをする、いわばマラソンでいうところの「伴走者」のような存在であるとイメージしてみてください。あくまでも患者さんご自身なのです。また、病気になるど誰もがさまざまな感情を体験します。それは病気になるってしまったことで「自分の身体・生活・生命が、この先どうなってしまうのか」という不安や恐れ、「なぜ、よりによってこの私がこのようになるのかな」となってしまったのか」という怒りや悲しみ；そんなとき人は、その強烈な感情に圧倒され、何をどうしたらいいのかわからない、混乱やパニックに陥ることも特別珍しいことではありません。そのようなときにこそ、どうぞ、お一人で悩みを抱え込んでしまわれず、思いのたけを存分に話す相手として、医療ソーシャルワーカーを訪ねてみてください。

函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

■診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目

■受付時間／8:30～11:30、13:30～16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)

